

2014年

9 | 27 土

開 場:午後0時30分

開 演:午後1時(終了予定:午後4時)

加須市市民総合会館

市民プラザかぞ(裏面地図参照)

埼玉県加須市中央2丁目4番17号

TEL.0480-62-0200

入場無料

事前申込不要

■ Fukushima

■ Saitama

基調報告

福島原発被害の実相

辻内琢也さん(早稲田大学人間科学学術院 准教授)

基調講演

原発のない世界を求めて

大島堅一さん(立命館大学国際関係学部 教授)

パネルディスカッション

彩の国から考える~原発のない未来へ~

大島堅一さん

辻内琢也さん

内山成樹さん(弁護士 大飯原発差止め訴訟弁護団)

お問い合わせ 埼玉弁護士会

さいたま市浦和区高砂4-7-20 電話 048-863-5255

主催:埼玉弁護士会 共催:日本弁護士連合会 関東弁護士会連合会

彩の国から考える 原発のない未来へ

日弁連人権擁護大会プレシンポジウム

上の図は、セシウム137の大気中拡散数値シミュレーションに基づくイメージ図です。
IRSN(フランス放射線防護原子力安全研究所)より

彩の国から考える〜原発のない未来へ〜

日弁連人権擁護大会プレシンポジウム

埼玉県は、福島原発事故の「最後の避難所」となった旧騎西高校をはじめ、福島県から6700名を超える、(2011年6月時点での埼玉県による、埼玉県下の各市からの集計による)きわめて多くの避難者の方々の避難先となりました。そして、いまなお被害を受けた多くの方々が暮らしています。本シンポジウムでは、福島原発事故が生んだ被害の実態を踏まえ、今後、原発のない未来を実現していくことはできないのかを考えていきます。

第1部では、辻内琢也准教授より、福島原発事故が人々に与えた被害の実相について基調報告して頂きます。第2部では、大島堅一教授から、事故が起きてなお原発をベースロード電源として位置づける、政府のエネルギー基本計画の合理性について、政策的・経済的観点からご講演頂きます。第3部では、辻内准教授、大島教授に加え大飯原発差止め訴訟で画期的な判決を勝ち取った弁護士から内山成樹弁護士をお招きして、パネルディスカッションを行います。原発のない未来を実現するためには何をどうしていくべきなのか、会場の皆様とともに、考えていきたいと思えます。

原発のない未来へ向けて、ここ加須市からメッセージを発信しませんか！



大島堅一
OOSHIMA Kenichi

一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得、経済学博士。
環境経済学の立場から、長年に亘って原子力発電の「真のコスト」を研究。政府が発表する「エネルギー白書」における原子力発電コスト試算方法の問題性を指摘し、原子力発電の「真のコスト」が実は火力発電などより高いことを明らかにした著書「原発のコスト」(岩波新書)は、第12回大佛次郎論壇賞を受賞し、高い評価を得た。
著書に「再生可能エネルギーの政治経済学」(東洋経済新報社、環境経済・政治学会奨励賞受賞)、「原発はやっぱり割に合わない」(東洋経済新報社)、「原発事故の被害と補償」(共著、大月書店)などがある。



辻内琢也
TSUJIUCHI Takuya

東京大学大学院医学系研究科卒(医学博士)。千葉大学大学院社会文化科学研究科健康環境論単位取得。東京大学医学部附属病院(心療内科)医員などを経て現職。
医療人類学の立場から、3.11直後から東日本大震災・原発事故によるトラウマや社会的苦悩、3.11以降の人々や地域の心理・社会・文化的復興を目指した医療福祉連携支援を研究。震災支援ネットワーク埼玉と共同で避難者アンケートを実施・分析するなど、原発事故が被災者へ与えた心理的・社会的影響についての第一人者。
著書に「ガジュマル的支援のすすめ：一人ひとりのところに寄り添う(早稲田大学ブックレット<「震災後」に考えるシリーズ>)」などがある。



お問い合わせ
埼玉弁護士会
さいたま市浦和区高砂4-7-20
電話 048-863-5255

主催：埼玉弁護士会
共催：日本弁護士連合会
関東弁護士会連合会